

第 52 期定時株主総会議事メモ

2013 年 11 月 21 日 10 時

株式会社ファーストリテイリング 山口本社

議長: 皆様、おはようございます。本日はご多忙のところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。私が、代表取締役会長兼社長の柳井正でございます。当社定款 第 14 条の定めによりまして、私が本総会の議長を務めさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

それでは、ただいまから第 52 期定時株主総会を開会いたします。本日の議事の、円滑な進行のため、議長である私の指示に従っていただきたく、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。また、ご質問は、報告事項の報告が終了した後にお受けしますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。それでは、本総会において議決権を行使される株主数およびその議決権の個数につきまして事務局からご報告申し上げます。

事務局: ご報告申し上げます。本総会におきまして、議決権を行使できる株主数は 7,430 名、その議決権の個数は 101 万 8,523 個でございます。そのうち、ただ今までに、ご出席いただいている株主数は、議決権行使書をご提出いただいている方を含めまして 1,754 名、その議決権の個数は 82 万 1,939 個でございます。以上ご報告申し上げます。

議長:ただ今ご報告申し上げました議決権の個数は、本日の議案をご審議いただくのに必要な定足数を満たしていることを、ご報告申し上げます。それでは、報告事項の報告および議案の審議に先立ちまして、監査役より監査役会の監査報告をいたします。

監査役: 常勤監査役の田中明でございます。各監査役の合意により、私が監査役会を代表してご報告申し上げます。当社の監査役会は、第 52 期事業年度における監査の方法および結果につきまして、各監査役から報告を受け協議いたしました。その結果につきましては、お手許の株主総会招集通知 50 ページ「監査役会の監査報告書謄本」に記載しております通り、事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。また、取締役の職務の執行に関しましては、子会社に関する職務を含め、不正の行為、または、法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。さらに、内部統制システム等の状況に関しましても特に指摘すべき事項はございません。会計監査人である新日本有限責任監査法人の監査方法および結果は相当であり、計算書類および附属明細書、ならびに連結計算書類につきましても、

指摘すべき事項はございません。また、会計監査人の職務の遂行が適正に実施されることを確保するための体制についても、指摘すべき事項はございません。なお、各監査役は 本総会付議の議案および書類につきましても調査いたしました。その結果、法令もしくは定款に違反する事実、または不当な事実は認められませんでした。以上 ご報告申し上げます。

議長： それでは、第 52 期、すなわち平成 24 年 9 月 1 日から平成 25 年 8 月 31 日までの事業報告、連結計算書類および計算書類について、その概要をご報告申し上げます。なお、事業報告は、お手許の招集通知の 2 ページから 22 ページに記載している通りでございます。事業報告および計算書類の概要については、議長である私に代わって、当社上席執行役員の岡崎よりご報告申し上げます。

岡崎上席執行役員： 上席執行役員の岡崎でございます。議長の指名により私よりご報告申し上げます。当連結会計年度の連結業績につきまして、売上高は、前期比 23.1%増 1 兆 1,430 億円、営業利益は、同じく 5.1%増の 1,329 億円、経常利益は、同じく 19%増の 1,489 億円、当期純利益は、同じく 26.1%増の 903 億円と増収増益を達成しました。これは主に、海外ユニクロ事業及びグローバルブランド事業で大幅な増収増益を達成した事によります。

当社グループは、中期ビジョンとして「世界ナンバーワンアパレル製造小売グループとなる」ことを目標に、「グローバル化、グループ化、再ベンチャー化」を進めております。特に、海外におけるユニクロ事業の拡大に力を注いでおり、出店を加速する一方で、世界主要都市におけるグローバル旗艦店・繁盛店の出店により、事業の基盤強化を図っております。なお、2012 年 12 月には、米国のプレミアムジーンズのリーディングカンパニーであるジェイブランドグループを 連結子会社化しております。

国内ユニクロ事業の当連結会計年度における売上高は、前期比 10.2%増の 6,833 億円、営業利益は、前期比 5.4%減の 968 億円と、増収減益の結果となりました。今期は、課題であった客数を増やすため、ヒートテック、ウルトラライトダウン、エアリズムなどのコア商品を中心に、テレビコマーシャル、チラシ広告などの販促活動を積極的に行った事で、客数を前期比 12%増と大幅に増やす事ができ、既存店売上高も同じく 7.3%増となりました。しかし、収益面では、売上高総利益率が前期比 1.8 ポイント低下し、営業利益は同じく 5.4%減少しました。売上高総利益率が低下したのは、お客様の価格志向の強さを反映し、値引き商品の販売が増えたこと、シーズン末期に在庫処分を進めた影響によるものです。また、売上高販管費率は前期比 0.6 ポイント上昇いたしましたが、これは、商品陳列棚の高層化による経費増、および店長手当制度新設などの人件費の増加によるものです。なお、8 月末の直営店舗数は 834 店舗と、前期末から 10 店舗増加しました。

海外ユニクロ事業の当連結会計年度の売上高は、前期比 64%増の 2,511 億円、営業利益は、同じく 66.8%増の 183 億円と、大幅な増収増益を達成いたしました。8 月末の海外ユニクロの店舗数は 446 店舗で、前期比 154 店舗増となっております。特に、中国、香港、台湾といった中華圏では、店舗数が前期末比 102 店舗増加し、中華圏の当連結会計年度の売上高は 1,250 億円、営業利益は 135 億円まで拡大いたしました。シンガポールなどの東南アジアでは、6 月にインドネシア 1 号店をオープンするなど、22 店舗を出店し、計画を上回る好調な業績となっております。また、欧州事業は計画通りほぼブレイクイーブンの結果でした。米国事業では、新たに 4 店舗をショッピングモール中心に出店しましたが、下期における天候不順の影響、2013 年秋にオープンする 10 店舗の新店関連経費増により、赤字幅は前年とほぼ同水準に留まりました。

グローバルブランド事業の当連結会計年度における売上高は、前期比 34.8%増の 2,062 億円、営業利益は、同じく 20.1%増の 174 億円でした。特に、ジーユーは既存店売上高の 2 桁増収と新規出店により、当連結会計年度の売上高は 837 億円、営業利益は 76 億円と増収増益を達成し、高い成長が続いております。セオリー事業も増収増益を達成し、過去最高の業績を更新いたしました。コントワー・デ・コトニエ事業は増収となりましたが、営業利益は計画を下回り減益となっております。また、12 月より当社グループに加わったジェイブランド事業につきまして、売上高は計画通りでしたが、営業利益は計画未達となっております。

当社グループの CSR 活動は、「社会的責任を果たす」、「社会に貢献する」、「社会の問題を解決し新たな価値を創造する」ことを基本方針とし、グローバルかつ地域に根ざした活動に取り組んでおります。「社会的責任」の重点活動として、パートナー工場において、外部監査機関による「労働環境モニタリング」を定期的を実施しております。児童労働や賃金未払い、環境汚染などがなく、安全で適正で健全な労働環境の継続的な実現を目指しております。また、8 月には「バングラデシュにおける火災予防および建設物の安全にかかわる協定」に署名しました。この協定は労働組合の国際組織が主導するもので、80 以上のブランドと協働し、工場の倒壊や火事などから労働者を守る活動を進めてまいります。さらに、当社独自でも、国内の全てのパートナー工場において防火および安全対策の強化に取り組んでおります。また、バングラデシュでの貧困・衛生・教育などの社会的課題の解決を目指す「ソーシャルビジネス」では、7 月に首都ダッカにグラミンユニクロ初の 2 店舗をオープンし、雇用の拡大、高品質で多くの人々が購入できる価格での商品提供を通じ、現地での貢献を進めております。「社会貢献」では、お客様に、ご不要になったユニクロとジーユーの商品をお持ちいただき、難民など服が必要な方々へ届ける「全商品リサイクル活動」を実施しております。8 月末時点で、10 カ国の店舗で累計 2480 万点以上を回収し、34 カ国に 730 万点を寄贈しております。

次に、企業集団の対処すべき課題についてご報告いたします。対処すべき課題として、まず挙げられるのは、「グローバルワン」の経営体制の推進であります。ユニクロ事業、その他の事業全てを統合する、「グローバル

ワン」の経営体制を推進するため、東京、ニューヨーク、パリ、上海、シンガポールを拠点とする、各本部機能の強化及びシステムの拡充を推進してまいります。

次に、ユニクロ事業のグローバル展開が挙げられます。具体的には、・アジア市場への出店拡大・世界中の大都市におけるグローバル旗艦店・繁盛店の出店・日本国内における都心部での大型店の出店・ユニクロ事業のグローバル化に伴うグローバル人材の育成・高機能、高付加価値商品の開発・ウィメンズ商品の開発体制の構築と強化・世界中のユニクロが連動するグローバルマーケティングの構築等がございます。ユニクロ事業以外の拡大も対処すべき課題であり、具体的には、ジーユー事業における低価格アパレルの商品開発、生産、出店及びローコストの経営ノウハウの構築、セオリー事業、 コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、及びジェイブランド事業の相乗効果の追求による効率経営と出店エリアの拡大、世界中で新たに展開できるグローバルブランド獲得のための M&A 等がございます。

CSR 活動の分野では、衣料の企画、生産、販売を通して「世界を良い方向に変える」ことを CSR の基本理念とし、バングラデシュにおけるソーシャルビジネスの運営、「全商品リサイクル活動」における衣料回収の飛躍的拡大と世界中の難民キャンプへの衣料配布、取引先工場の労働モニタリングの強化と環境モニタリングの継続実施、環境にやさしい商品や店舗づくり等を中心に推進してまいります。

続きまして、お手許の招集通知 23 ページに記載しております連結貸借対照表についてその概要をご説明申し上げます。資産合計は、8,858 億円で、前期に比べ 48.8%増加しております。この内訳は、流動資産が、前期比 50.8%増の 6,401 億円、固定資産が、同じく 44%増の 2,456 億円となっております。次に、負債合計は、3,062 億円で前期に比べ 52.9%増加しております。この内訳は、流動負債が、前期比 46.5%増の 2,539 億円、固定負債が、同じく 94.7%増の 522 億円となっております。純資産合計は 5,795 億円で前期に比べ 46.8%増加しております。

次に、招集通知 24 ページに記載しております連結損益計算書についてその概要をご説明申し上げます。先ほど申し上げたとおり、売上高は、前期比 23.1%増の 1 兆 1,430 億円、経常利益は、同じく 19%増の 1,489 億円、当期純利益は、同じく 26.1%増の 903 億円となりました。連結株主資本等変動計算書につきましては、招集通知 25 ページに記載するとおりでございます。なお、単体の貸借対照表につきましては、招集通知 36 ページに、損益計算書は、37 ページに、株主資本等変動計算書は、38 ページに、それぞれ記載するとおりでございます。以上ご報告申し上げます。

議長： 以上をもちまして、第 52 期事業報告、連結計算書類および計算書類について、その概要のご報告とさせていただきます。なお、ただいまご報告申し上げました連結計算書類につきましては、当社の会計監査人であ

る新日本有限責任監査法人より、お手許の招集通知 46 ページに記載する「連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書謄本」の通り、その監査の方法およびその結果が適正である旨の報告を受けております。また、当社の監査役会からの監査結果につきましては、先の監査報告のとおりでございますので、あわせてご報告申し上げます。

それでは報告事項に関しまして、ただ今より、ご出席の株主様から、ご質問を受けたいと存じます。ご質問の際は、挙手をしていただき、私から、指名いたしますので、指名を受けられた株主の方は、ご出席票の番号とお名前を お申し出のうえ、簡潔に 要点だけをご質問下さい。ご質問はございませんでしょうか。

議長： ご質問がないようですので、引き続き 議案の審議に 入らせていただきます。

それでは、議案『取締役6名選任の件』を付議いたします。本総会終結の時をもって、取締役全員は任期満了となりますので、取締役6名の選任をお願いしたいと存じます。つきましては、取締役候補者は、お手許の招集通知 52 ページから 58 ページに記載するとおりでございますので、一括して取締役に選任することをお願いしたいと存じます。

それでは、本議案につき、よろしくご審議のうえ、ご承認をお願い申し上げます。まず、本議案に関しましてご質問はございませんでしょうか。

ご質問がございませんので本議案のご承認をお願いしたいと存じます。本議案につきまして、ご異議ございませんでしょうか。

ありがとうございました。議決権行使書によるご賛成と合わせ、賛成過半数と認めます。よって、議案『取締役6名選任の件』は原案通りに承認・可決され、

柳 井 正 （やない ただし）

半 林 亨 （はんばやし とおる）

服 部 暢 達 （はっとり のぶみち）

村 山 徹 （むらやま とおる）

新 宅 正 明 （しんたく まさあき）

名 和 高 司 （なわ たかし）

の各氏が 取締役に 選任されました。

議長： 以上をもちまして、本総会の目的事項のすべてを終了いたしましたので、第 52 期定時株主総会を、閉

会させていただきます。株主の皆様には、ご多忙のところ、本総会にご出席いただき、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。